

《共通基礎科目 第二外国語科目》

科目名	中国語				
担当者氏名	浦部 依子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

中国語の入門コースとして、まず発音の仕組みを理解する。次に中国語の基本となる語彙、語順による文法、それらを用いた基本文型を学習し、数と時刻の表現や、使用頻度の高い形容詞・動詞や、文章を構成するのに不可欠な助数詞・前置詞などを覚え、表現の幅を広げていく。本講義を通じて、受講者は中国の言語と文化に親しみ、基本的なコミュニケーション能力の涵養をめざす。

《授業の到達目標》

1「知識・理解」：単語と文法の学習により文意を掴み、発音体系とピンインを学ぶ。2「思考・判断」：単語置換や作文により基本文を展開させ、応用力を養う。3「関心・意欲」：言語のみならず、その言語が熟成された民族文化に親しむ。4「技能・表現」：読解した文の会話表現を試みる。5「態度」：異なる言語や文化を持つ幼児の教育を理解し、主要外国語である中国語の基礎を学び備える。

《成績評価の方法》

定期試験によらず、到達度の確認テスト(文法・文化理解)50%
平常点(課題・小テスト・積極性・ミニツツペーパー・会話コミュニケーション)50%で総合的に評価する。

《テキスト》

荒川清秀ほか著『新訂・シンプルに中国語 文法編』(2016 東京：同学社)

《参考図書》

必要に応じてハンドアウトを配布する。

《授業時間外学習》

事前学習：新しい課の学習に先んじて、テキストの単語を把握する。
事後学習：文法事項を復習して小テストに備える。会話発表の練習をする。

《備考》

クラス内で会話パートナーやグループを設定する。「大家沙龍(みんなのサロン)」では、伝統歳時やCポップを楽しみ、中国の社会文化に親しむ。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	発音 1 まず中国と中国語を知ろう	現代中国語の語順と日米言語比較、発音のポイント、声調(四声)、単母音、子音
2	発音 2	複合母音、鼻母音、その他の発音のポイント
3	第1課 こんにちは!	人称代名詞、形容詞、名前の言い方、中国じゃんけん・自分の中国語表記氏名を調べよう
4	第1課 こんにちは!	名前のたずね方と答え方 自己紹介してみよう 簡体字と繁体字、疑問詞 什么
5	第2課 これは何ですか?	動詞「是」、指示代名詞、~の~、 「指示代詞 + (不是) + 誰+的+名詞」自己紹介の練習
6	第2課 これは何ですか?	身の回りの物について言ってみよう (これ・あれ・これら・あれら等)は(彼・彼女・あなた・私)の~です
7	第3課 どうぞお茶を	動詞の重ね型、太~了、動詞+目的語
8	第3課 どうぞお茶を	動詞+目的語 テレビを見る、音楽を聴く、などいってみよう。
9	第4課 十五元です	数、お金の言い方、数詞/指示代名詞+量詞+名詞、給：あげる・くれる
10	第4課 十五元です	形容詞+一点儿 少し~だ
11	第5課 明日私は授業があります	動詞「有」 S+有+(人・物) 「場所 + 有 + 人・物の名詞」 月・日・曜日・年号・時間・電話番号
12	第5課 明日私は授業があります	今何時ですか? 授業のコマ数
13	第6課(エッセンス授業) ここで食べよう	S+在+場所+V、要、~还是~、V一下
14	復習と対策	到達度の確認・自己紹介テストの練習
15	講義のまとめ	要点の復習、テスト